

第1期（新法人移行初年度）の事業報告

自 平成23年 1月21日

至 平成23年 9月30日

一般財団法人 大阪大学産業科学研究協会

1. 活動方針

一般財団法人に移行した最初の期にあたる今期は、旧法人の事業を引き継ぎつつも先に策定した目指す姿に基づき下記5事業を重点的に推進する計画である。これらの事業は、大学の保有する優れた研究成果・保有技術の情報発信と事業化シーズの発掘、人的ネットワークの構築、さらに新たな産業界からのニーズの掘り起こしなど、またそれらに関する知的財産経営に関する教育・支援、さらに、実用化を加速するための実用化支援、産業創造経営人材の育成、協会資金拡充のための寄付事業などを含み、**Real Innovation** を旗印に活動を推進する。

- I. 先端知識普及事業
- II. 知財事業
- III. 実用化支援事業
- IV. 人材育成事業
- V. 寄付顕彰事業

2. 当期事業の報告

2-1. 会議

(1) 理事会

第1回 平成23年2月4日（場所：大阪大学中ノ島センター9階会議室）

1. 審議事項

- (1) 平成22年度旧法人の事業報告及び決算報告について
- (2) 第1期（新法人移行初年度）の事業計画案及び予算案について
- (3) 協会運営規定の継続及び役員報酬について
- (4) 企画戦略会議メンバーの選任について
- (5) アドバイザリボードメンバーの継続について

2. 報告事項他

- (1) 評議員・役員の任期について
- (2) 新法人への移行認可、新法人の定款、寄付顕彰碑の設置及び記念品について

第2回 平成23年9月9日（場所：大阪大学産業科学研究所事務棟中会議室）

1. 審議事項

- (1) 第2期の事業計画案及び予算案について
- (2) 産研助成金について
- (3) 功労顕彰候補者について
- (4) アドバイザリーボードメンバーの追加について
- (5) 評議員選定委員会メンバーの選任について
- (6) 専務理事の事務局長兼務について

2. 報告事項他

- (1) 第1期の決算見通しについて
- (2) 主担当事業の報告について
- (3) 協会の将来ビジョン、実用化支援事業に関する討議
 - ・シュタインバイス財団との連携事業
 - ・産研教員の成果活用事業など

(2) 評議員会

第1回 平成23年2月4日 (於：大阪大学中ノ島センター9階会議室)

1. 審議事項

- (1) 平成22年度旧法人の事業報告及び決算報告について
- (2) 協会役員の報酬について

2. 報告事項他

- (1) 第1期（新法人移行初年度）の事業計画案及び予算案について
- (2) 企画戦略会議メンバーの選任について
- (3) アドバイザリーボードメンバーの継続について
- (4) 評議員・役員の任期について
- (5) 新法人への移行認可、新法人の定款、寄付顕彰碑の設置及び記念品について

2-2. 知識普及事業

(1) 産研テクノサロン

大阪大学産業科学研究所と共催にて、研究所の保有する優れた研究成果・保有技術を広く情報発信するとともに、研究所の活動、施設の紹介を行い、産業界との情報・意見交換、人的交流の促進を図った。特に第3回目は、新企画として企業の技術紹介を中心にワークショップを組み合わせ盛況であった。

活動状況

回	開催日	場 所	テーマ	参加人数
1	平成23年2月4日	大阪大学 中之島センター	新産業の開拓に向けた新たな産学連携	34
2	平成23年5月13日	大阪大学 産業科学研究所	基礎研究と産業応用とを繋ぐ	45
3	平成23年8月5日	大阪大学 産業科学研究所	高機能・安全・安心を目指した新技術開発と連携推進	74

(2) 新産業創造研究会

当期は、既存テーマで1研究会を開催した（3回開催／年を基本）

半導体新規化学プロセス研究会…平成16年度より継続開催

担当教官：第2研究部門 半導体材料・プロセス研究分野 小林 光教授

会員数：11社

活動内容：シアン処理による欠陥消滅、硝酸酸化等、新規化学反応を用いた半導体新規化学プロセスの最新技術の紹介と実用化を目指した議論を行った。

活動状況

回	開催日	場 所	参加人数
1	平成 23 年 7 月 22 日	大阪大学産業科学研究所	27

2-3. 知財事業

(1) 知財教育（IPアカデミー） 日本弁理士会認定講座

東京地区：平成23年5月から平成23年10月 まで

場所：機械振興会館、虎ノ門オカモトヤ1号館

受講生：30名

第1回 平成23年5月20日 13:15~16:00 出席者 27名

第2回 平成23年6月17日 13:15~16:00 27名

第3回 平成23年7月15日 13:15~16:00 24名

第4回 平成23年8月19日 13:15~16:00 26名

第5回 平成23年9月16日 13:15~16:00 23名

(2) 知財活用活動など

- ・知財活用やコンサルティングについての調査を行った。
- ・書籍などを通じて協会の知財活動PRを行った。

2-4. 実用化支援事業

(1) 実用化支援事業（事業管理）

- ・平成23年度戦略的基盤技術高度化支援事業に下記2テーマを応募したが不採用。

①高剛性振動吸収セラミックによる高精度位置決め技術の研究開発

Q INVERSE (株) ほか2社 23~25年 9,286万円

②薬剤の低付着性を実現する打錠金型製造技術の研究開発

(株) 豊和ほか2社 23~25年 7,143万円

- ・平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業（高シリコンステンレス鋼の圧延と鍛造の複合加工による超微細粒鋼の創生とその製品開発）の管理フォロー
- ・PE研究会の会計管理業務

(2) 企業リサーチパーク運営支援

入居者募集支援などの実施。

現状：対象38室、企業入居12室(予定を含む)、平成25年までに満室を目指す。

3. 一般財団法人移行に伴う諸手続きなど

- ・役員及び評議員等への挨拶状、記念品の発送
- ・登記、銀行、税務署、関係機関に対する移行処理
- ・協会パンフレット、協会HP更新など

4. 協会会員の獲得活動

会員勧誘活動により前期末64社から今期末65社（退会4社、入会5社）

5. その他特記事項

公益法人会計基準への対応

以上